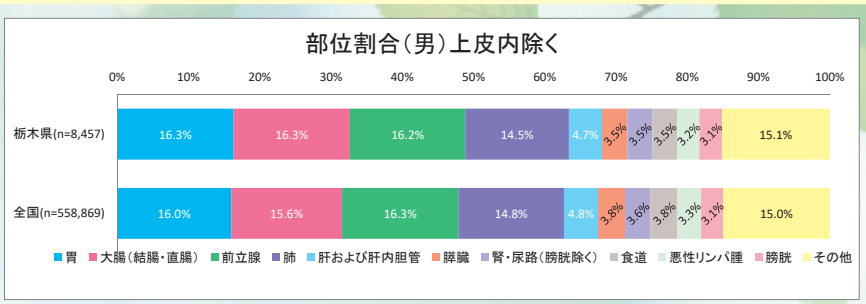
栃木県のがん　2017（平成29年）【概要版】
（栃木県がん実態調査報告）

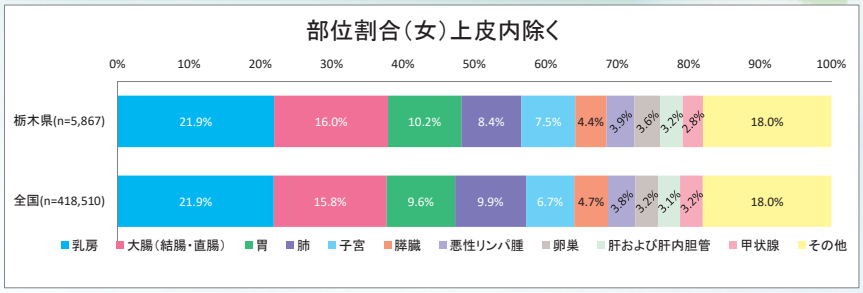
全国がん登録とは

全国がん登録は、がんの罹患、治療、転帰等の状況を把握・分析することにより、科学的知見に基づくがん対策と情報提供の充実を図り、もってがん医療の質の向上及びがん予防の推進に資することを目的とする。対象は、全ての病院及び指定された診療所から都道府県知事に届け出られた者及び市町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者で、2017年1月1日～12月31日までに診断された症例である。

栃木県におけるがん罹患の概要

2017年に**栃木県**で新たに診断されたがんは14,324 件（男性8,457件、女性5,867件）





栃木県で罹患数が多い部位

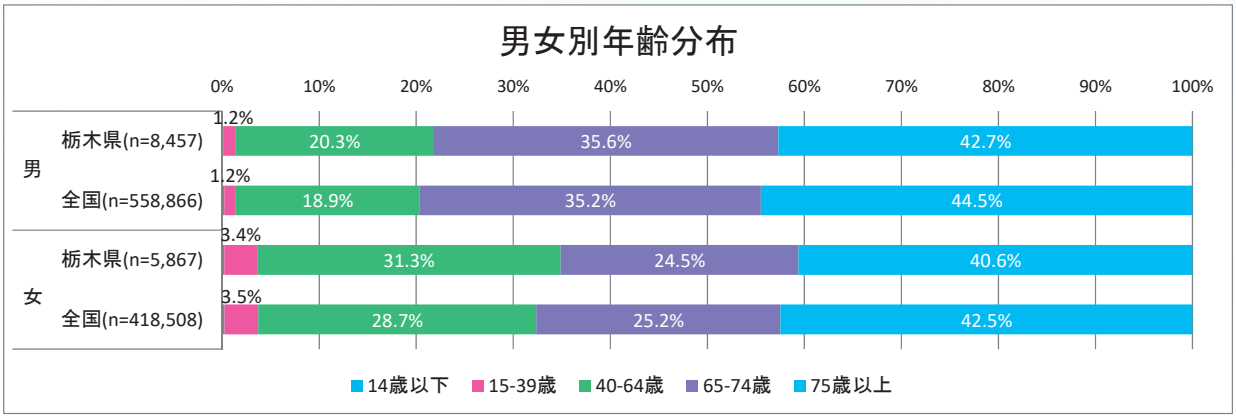
	1位	2位	3位	4位	5位
男	胃	大腸	前立腺	肺	肝臓
女	乳房	大腸	胃	肺	子宮

全国で罹患数が多い部位

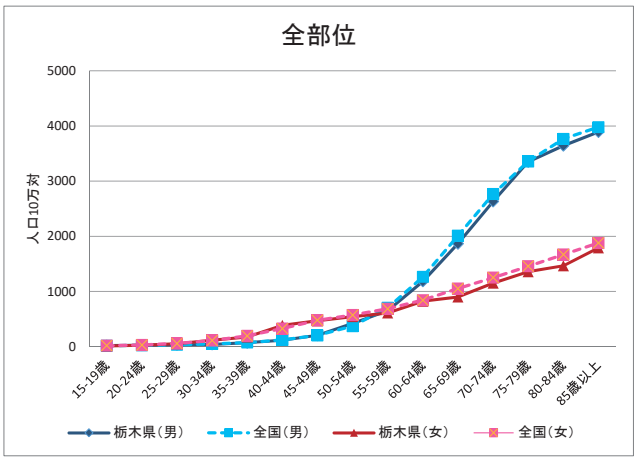
	1位	2位	3位	4位	5位
男	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女	乳房	大腸	肺	胃	子宮

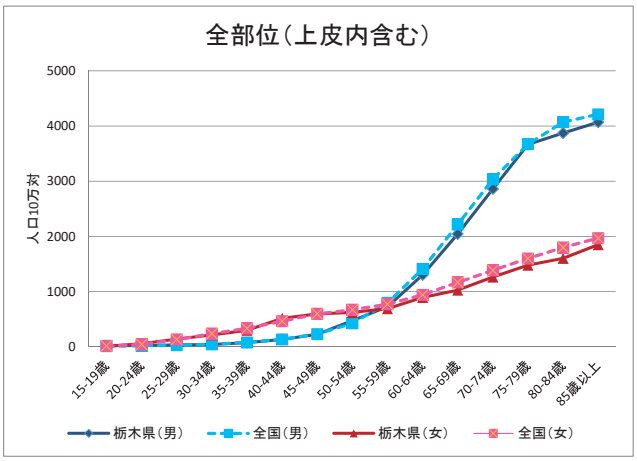
年齢別罹患

65歳以上の割合は男性78.3%、女性65.1%。栃木県の方が若い年齢の割合が高かった。

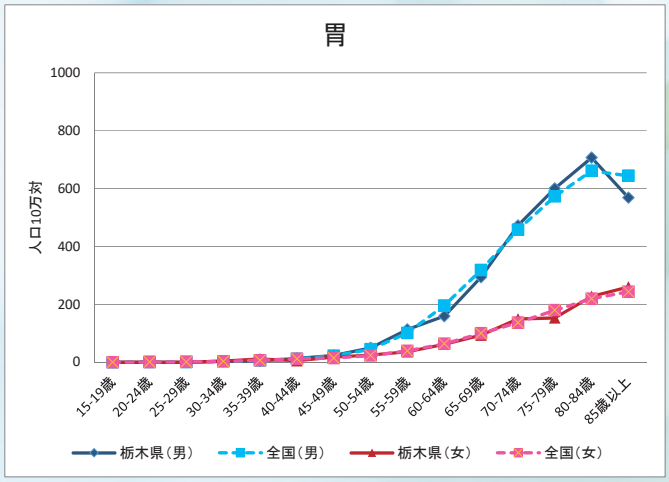


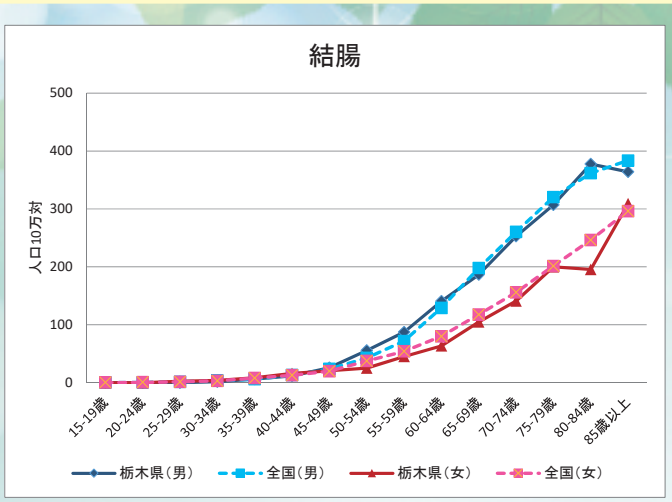
年齢階級別罹患率を全国と比較すると、全部位の男性女性とも年齢階級が高くなるほど全国と比較して罹患率が低くくなる傾向が見られた。

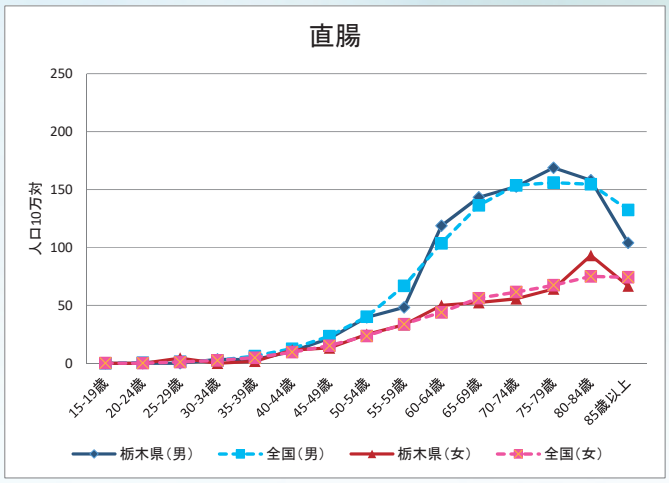


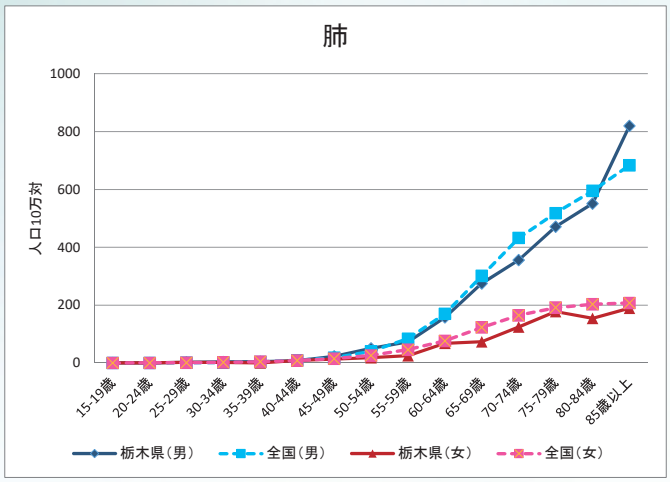


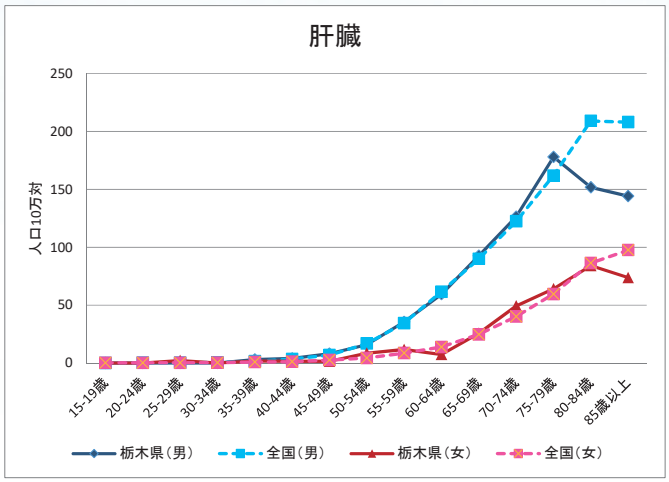
多くのがんは年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんは若い年齢でも罹患する。

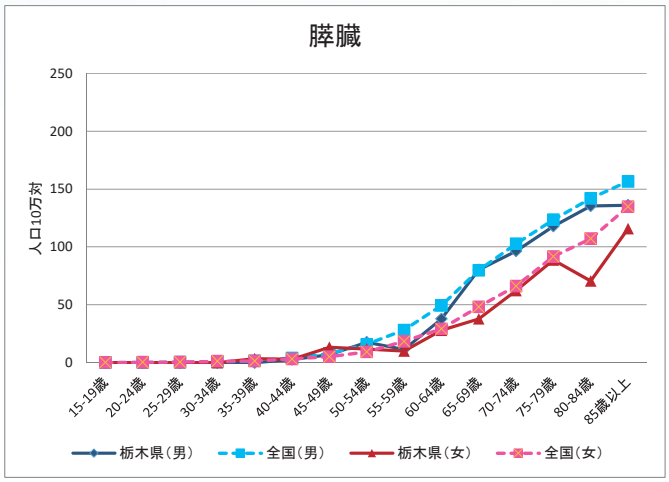


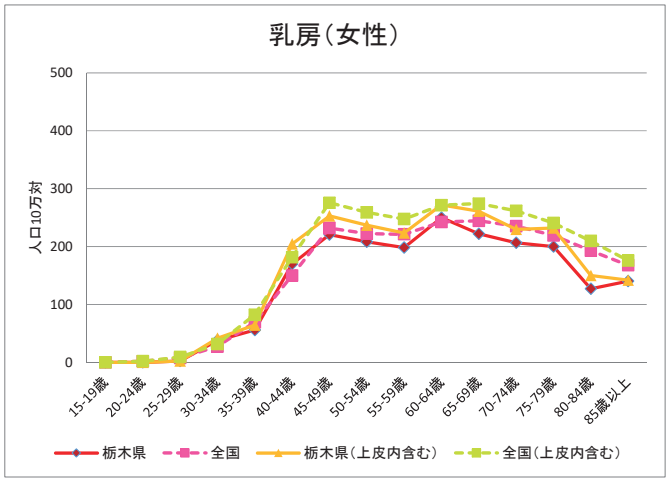


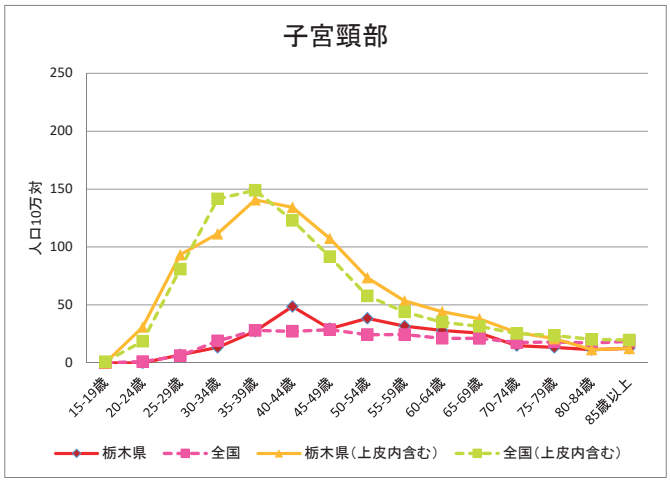






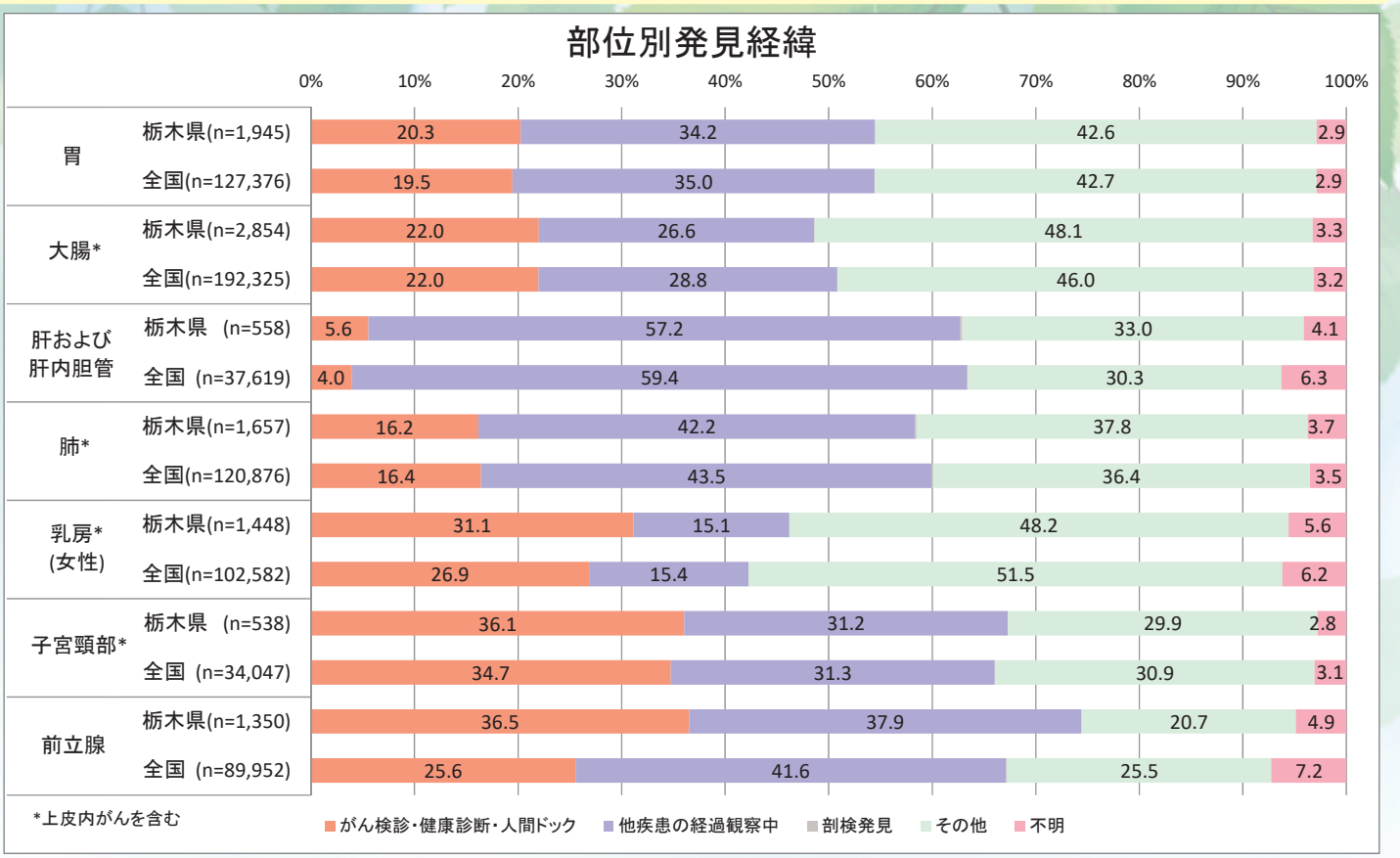






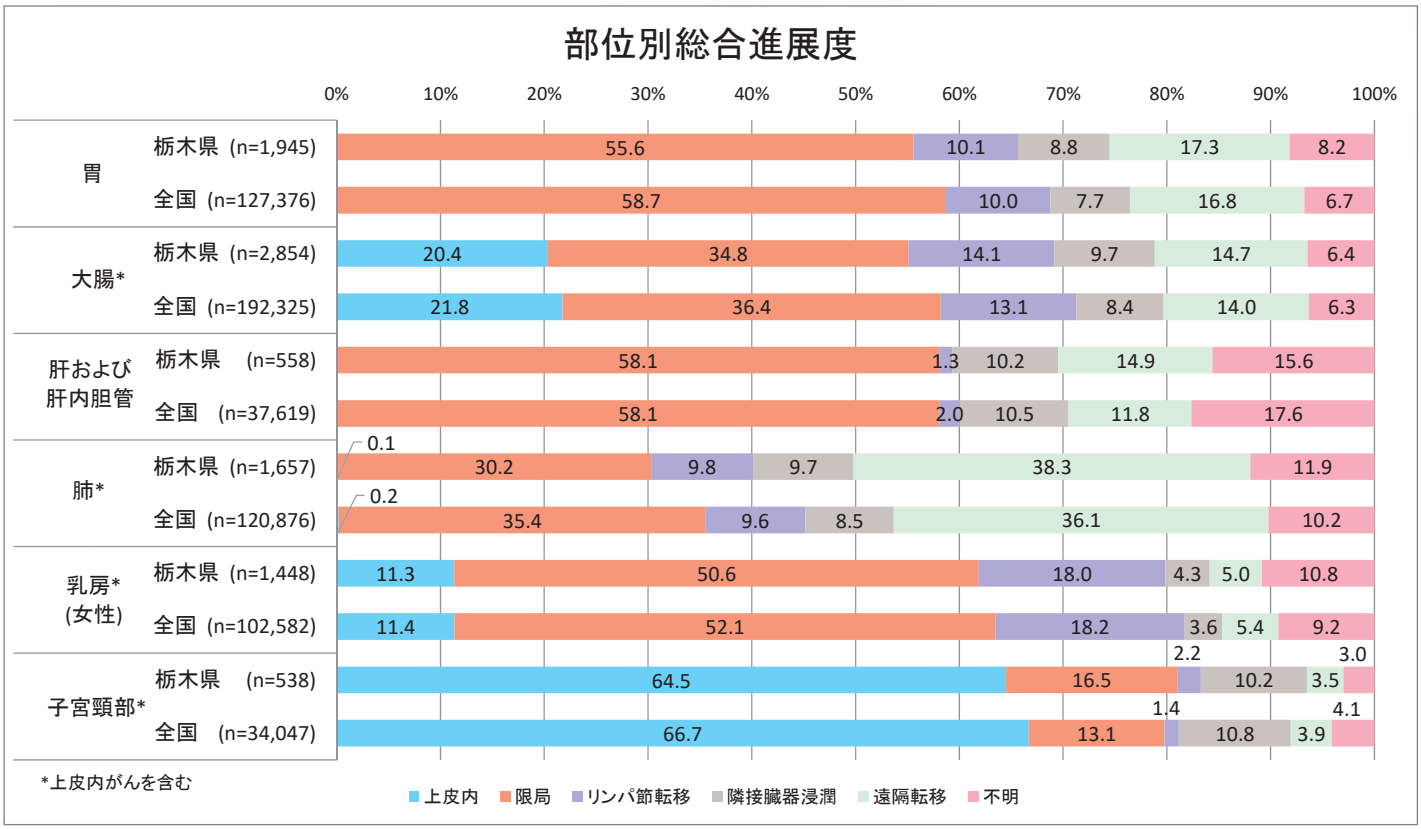
発見経緯

部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃（20.3%）、大腸（22.0%）、肺（16.2%）、乳房（31.1%）、子宮頸部（36.1%）、前立腺（36.5%）であった。胃、大腸、肺の検診等発見割合は全国とほぼ同等であるが、乳房、前立腺は検診等発見割合が全国より高かった。



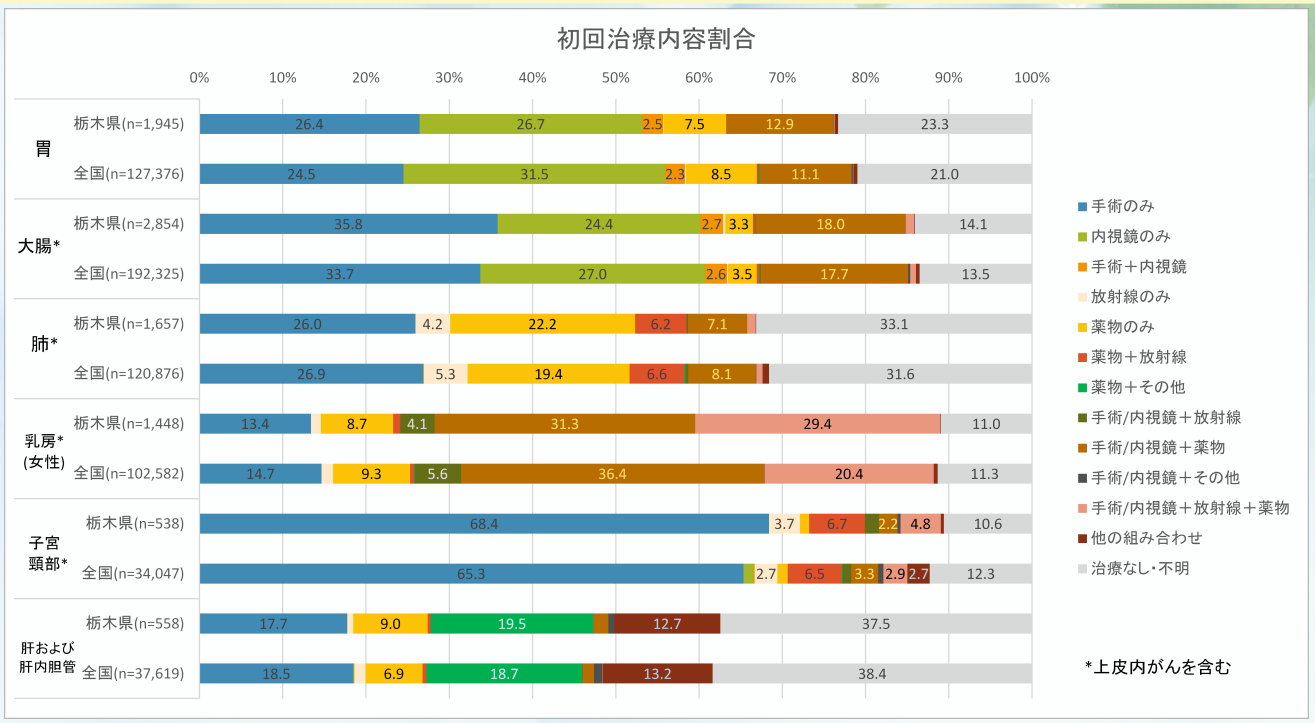
進展度

胃、大腸のように上皮内・限局が50～60%を占めるもの、乳房、子宮頸部のように60%を超えるもの、 反対に肺のように40%に満たないものがあった。主な部位を図に示す。
多くの部位で全国と比較して上皮内・限局の占める割合が低く、遠隔転移の占める割合が高かった。

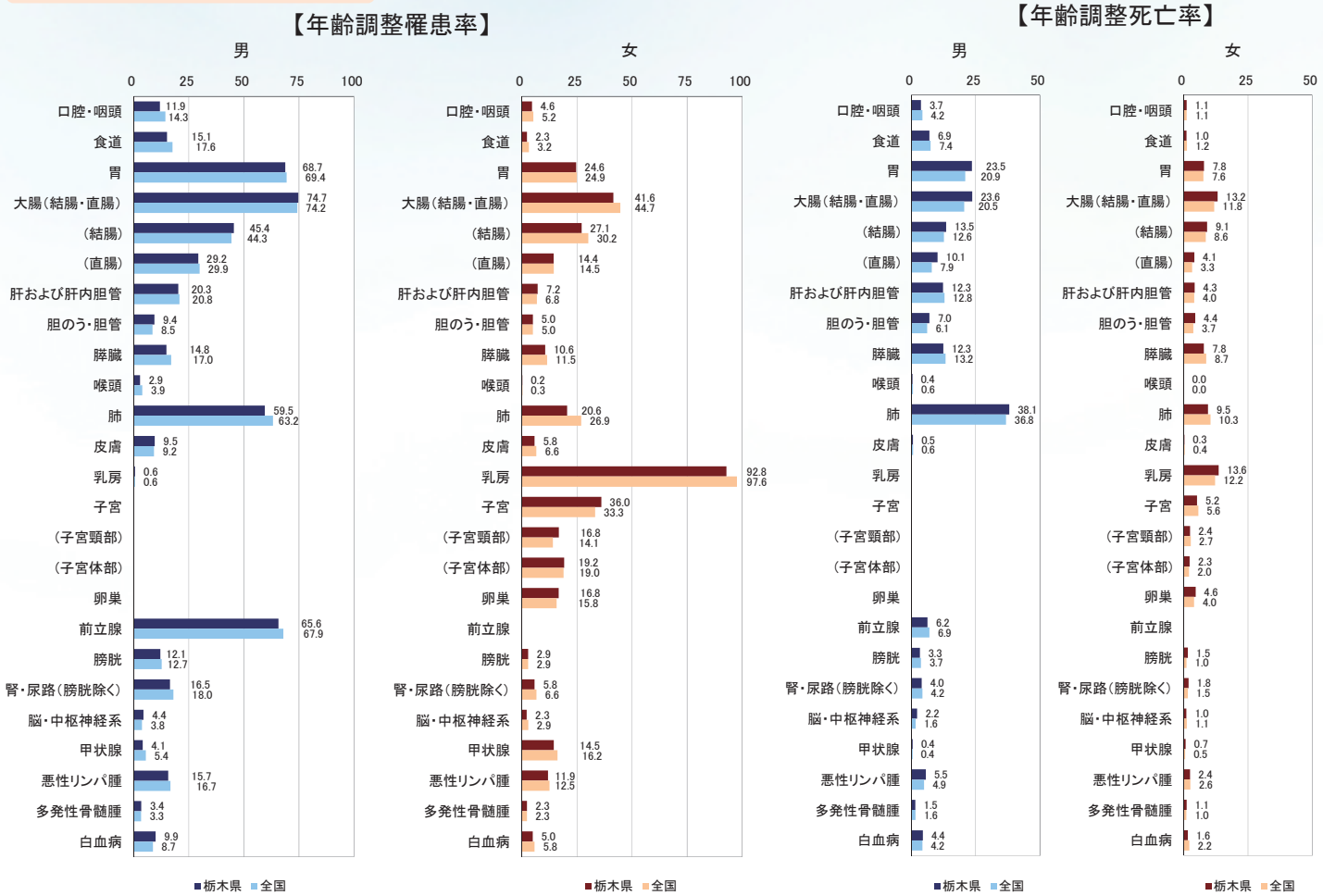


初回治療

初回治療は部位によって特徴的であり、栃木県と全国は同じ傾向である。



罹患率と死亡率の全国比較



栃木県のがん 2017（平成29年）

2021（令和3年3月）

編集　地方独立行政法人栃木県立がんセンター

発行　栃木県保健福祉部　健康増進課

〒320-8501　栃木県宇都宮市塙田1-1-20

https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/gantaisaku/gantourokuhoukokusho.html